

**令和5年度 館林市日本遺産シンポジウム
 両毛3市日本遺産こどもサミット**
「好きです！ 日本遺産のある わたしたちのふるさと」

館林市・桐生市・足利市で日本遺産の継承や普及にかかわる「こどもたちの活動」を取り上げ、その活動報告の発表や、その活動を支える大人たちによるパネルディスカッションを実施し、3市の日本遺産にかかわる人々の交流を深めます。

両毛3市日本遺産こどもサミット

- 日時: 令和6年2月18日(日)午後1時30分～3時30分(開場:午後1時)
- 会場: アゼリアホール (館林市楠町3648-1 アゼリアモールA館1階)
- 主催: 館林市「日本遺産」推進協議会
- 共催: 桐生市・かかあ天下ぐんまの絹物語協議会
足利市・足利市教育委員会・教育遺産世界遺産登録推進協議会
館林市・館林市教育委員会
- 募集: 100名(先着順)
- 申込: 2/2(金)9:00より、下記にて受付
(A)ぐんま電子申請受付システム (B)FAX 0276-74-4113
(C)メール nihonisan@city.tatebayashi.gunma.jp



科学館科学クラブ「里沼コース」

■事業の概要

- 【1】こどもたちによる活動報告「紹介します！ わたしのまちの日本遺産」
 - 【2】パネルディスカッション「日本遺産が育む こどもたちの“郷土愛”」
- 《コーディネーター》
熊倉浩靖氏 (館林市「日本遺産」推進協議会委員/高崎商科大学特任教授)
- 《登壇者》

- 館林市 子ども科学館科学クラブ「里沼コース」クラブ員とその指導者
- 桐生市 未来創生塾「日本遺産講座(実践ガイド)」とその指導者
- 足利市 史跡足利学校「こども釋奠(せきてん)」参加者とその主催者

未来創生塾
「日本遺産講座(実践ガイド)」
■関連事業 同日11時より、会場前「アゼリアホールエントランス」にて開催

- ①日本遺産PRブース
3市の認定ストーリーの展示や、こどもたちの活動を紹介するパネル展示
- ②館林市の日本遺産関連商品等の販売
大泉高校×関東学園大学コラボ商品「カキツパタソーダ」、館林細関連商品を予定



史跡足利学校「こども釋奠」

《参考》 これまでの「両毛3市日本遺産シンポジウム」

- 2年度 館林市日本遺産シンポジウム「つながる日本遺産～両毛3市の魅力発信～」(R3.2.21 館林市 カルピス®ホール)
パネディスカッション「両毛3市の歴史文化を軸としたローカル・ディスプレイ連携」/「日本遺産 両毛3市連携共同宣言」の締結
- 3年度 「日本遺産シンポジウム in 桐生」(R4.2.5 桐生市 有鄰館 煉瓦蔵)
パネディスカッション「歴史文化で紡ぐ三都市ものがたり」/ キャッチフレーズ「人を育み “日本”を支える 両毛三都」の決定
- 4年度 「日本遺産シンポジウム in 足利」(R5.2.5 足利市 栃木県南地域地場産業振興センター)
パネディスカッション「日本遺産で人を育みあおう」



問合せ 館林市教育委員会 文化振興課 日本遺産推進係 担当 阿部・岩瀬・神藤
 〒374-0018 群馬県館林市城町3-1 電話:0276-71-4111 FAX:0276-74-4113
 メール:nihonisan@city.tatebayashi.gunma.jp X:@ta_satonuma2019



両毛3市日本遺産こどもサミット

＼好きです！／

日本遺産のある
わたしたちのふるさと

館林市・桐生市・足利市で日本遺産の継承や普及にかかわるこどもたちの活動発表や、それを支える大人たちによるパネルディスカッションを通して、3市の日本遺産にかかわる人々の交流を深めます。

令和6年

2/18 日

当日オンライン配信あり！

13:30～15:30 〈開場13:00〉

会場 AZALEA MALL | A館1Fアゼリアホール
(〒374-0004 群馬県館林市楠町3648-1 / TEL: (0276) 75-8512)

定員 100名 (申込順) **参加無料**

◎13:35～

こどもたちによる発表 「紹介します！わたしのまちの日本遺産」

発表者 向井千秋記念子ども科学館 科学クラブ「里沼コース」/ 未来創生塾「日本遺産講座(実践ガイド)」/ 史跡足利学校「こども釋奠」参加者 ...のみなさん

コーディネーター 熊倉浩靖 (館林市「日本遺産」推進協議会委員/高崎商科大学特任教授)

◎14:40～

パネルディスカッション 「日本遺産が育む こどもたちの”郷土愛”」

パネリスト 向井千秋記念子ども科学館 科学クラブ「里沼コース」指導者 / 未来創生塾 塾長 野田玲治氏(群馬大学大学院理工学府准教授) / 足利市教育委員会事務局職員

コーディネーター 熊倉浩靖 (館林市「日本遺産」推進協議会委員/高崎商科大学特任教授)

同日開催

11時00分～
会場前にて
開催！

● 日本遺産PRブース ●

> 3市認定ストーリーの展示のほか、大泉高校生のヨシトロー・里沼キクラゲ、桐生織物協同組合主催のコンペで入賞した学生たちの作品も展示します。

● 日本遺産マルシェ ●

> 大泉高校 × 関東学園大学コラボによる「カキツバタソーダ」「館林紬」関連商品の販売を行います。

申込方法

2/2(金) 9:00

より受付開始

> ぐんま
電子申請
受付
システム



> FAX・メール

1.名前 2.電話番号 3.メールアドレスを記入し、
FAX: (0276) 74-4113
Mail: nihonisan@city.tatebayashi.gunma.jp まで送信

発表者

向井千秋記念子ども
科学館 科学クラブ
「里沼コース」



館林市



里沼(SATO-NUMA)

発表者

未来創生塾
「日本遺産講座(実践ガイド)」



桐生市



かかあ天下
—ぐんまの絹物語—

発表者

史跡
足利学校「こども釋奠」



足利市

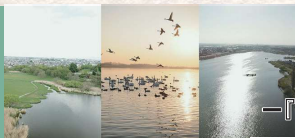


近世日本の教育遺産群
—学ぶ心・礼節の本源—

こどもたちの
活動詳細は
裏面をチェック！



「好きです!日本遺産のあるわたしたちのふるさと」



里沼 (SATO-NUMA)

—『祈り』『実り』『守り』の沼が磨き上げた館林の沼辺文化—

認定年月日：2019(令和元)年5月20日
認定形式：地域型(館林市単独)



こどもたちの活動

構成文化財の「上三林のささら」では、地元のこどもへの技能継承が行われ、「堀工町のどんと焼き」では小学生がご神火を運ぶ役目を担っています。つつじが岡公園の子房摘みには小中学生が協力し、校内に蛇沼がある四中では環境学習が行われています。

茂林寺沼湿原では平成30年度より大泉高校生による保全活動が始まり、現在は廃ヨシを活用したストローづくり、キクラゲ栽培の研究も実施しています。

さらに令和3年度からは向井千秋記念子ども科学館科学クラブに「里沼コース」が創設され、小中学生が茂林寺沼などで活動しています。

▶ストーリー概要

関東の山々が一望できる館林では、今も多くの沼と出会うことができる。館林の沼は人里近くにあり、「里山」と同様に人々の暮らしと深く結び付き、人が沼辺を活かすことで良好な環境が保たれ、文化が育まれてきた「里沼(SATO-NUMA)」であった。館林の里沼は、沼ごとに特性が異なる。その歴史を紐解くと、里沼の原風景と信仰が共存する茂林寺沼は「祈りの沼」、沼の恵みが暮らしを支えた多々良沼は「実りの沼」、館林城とつつじの名勝地を守ってきた城沼は「守りの沼」と言い換えることができる。館林の里沼を巡れば、それぞれの沼によって磨き上げられた館林の沼辺文化を味わい、体感することができる。

▶主な構成文化財

茂林寺沼及び低地湿原(県天然記念物)、多々良沼、城沼、封内経界図誌(県重文)、躑躅ヶ岡(国名勝)、正田醤油(株)旧店舗・主屋(国登録)、分福酒店店舗(国登録)、旧館林二業見番組合事務所(国登録)、東武鉄道館林駅を含む全42個



かかあ天下ーぐんまの絹物語ー

認定年月日：2015(平成27)年4月24日
認定形式：シリアル型(群馬県桐生市の他に甘楽町、中之条町、片品村)



こどもたちの活動

桐生市では、産官学民で取り組む教育プログラム「未来創生塾」を通じて、令和3年度から小中学生親子が学ぶ未来創生塾「日本遺産講座」によるこどもガイドの育成が始まりました。1年目に「日本遺産講座」を受講したこどもに桐生ジュニアアンバサダーとして認定を行い、2年目に桐生ジュニアアンバサダーによる日本遺産ツアーガイドが行われています。

日本遺産ツアーガイドを実施したこどもには、桐生ジュニアガイドマイスターとして認定を行い、これまでの2年間で15名の子どもがガイド(桐生ジュニアガイドマイスター)が誕生しました。

▶ストーリー概要

古くから絹産業の盛んな上州では、女性が養蚕・製糸・織物で家計を支え、近代になると、製糸工女や織手としてますます女性が活躍した。夫(男)たちは、おれの「かかあは天下」と呼び、これが「かかあ天下」として上州名物になるとともに、現代では内に外に活躍する女性像の代名詞ともなっている。

「かかあ」たちの夢や情熱が詰まった養蚕の家々や織物の工場を訪ねることで、日本経済を、まさに天下を支えた日本の女性たちの姿が見えてくる。

▶主な構成文化財

白瀧神社(ぐんま絹遺産)、旧模範工場桐生燃糸合資会社事務所棟(市重文/ぐんま絹遺産)、桐生市桐生新町伝統的建造物群保存地区(重伝建/ぐんま絹遺産)、後藤織物(国登録/ぐんま絹遺産)、織物参考館「紫」(国登録/ぐんま絹遺産)、桐生織物会館旧館(国登録/ぐんま絹遺産)



近世日本の教育遺産群ー学ぶ心・礼節の本源ー

認定年月日：2015(平成27)年4月24日
認定形式：シリアル型(足利市の他に水戸市(茨城県)・備前市(岡山県)・日田市(大分県))



こどもたちの活動

毎年11月に足利学校で行われる「釋奠(せきてん)」は、孔子とその弟子たちに供え物をし、徳をたたえる伝統行事です。この釋奠への関心を高め、伝統文化を継承することの大切さを学んでもらうため、平成26年から「こども釋奠」を始めました。

毎年9月に、公募で選ばれた市内の小中学生により、実際の「釋奠」と同じ道具や手順で執り行われます。

また、足利学校では、子どもを対象とした「論語」の素読体験なども開かれています。

▶ストーリー概要

我が国では、近代教育制度の導入前から、支配者層である武士のみならず、多くの庶民も読み書き・算術ができ、礼儀正しさを身に付けるなど、高い教育水準を示した。これは、藩校や郷学、私塾など、様々な階層を対象とした学校の普及による影響が大きく、明治維新以降のいち早い近代化の原動力となり、現代においても、学問・教育に力を入れ、礼節を重んじる日本人の国民性として受け継がれている。

▶主な構成文化財

足利学校跡[聖廟および附属建物を含む](国史跡)、国宝漢籍『礼記正義』『尚書正義』『文選』『周易注疏』(国宝(書跡))、釋奠(市民俗文化財)



アゼリア モール AZALEA MALL

〒374-0004 群馬県館林市楠町3648-1
TEL: (0276)75-8512

- 東武伊勢崎線「館林駅」よりバスで約20分
「館林・板倉線 板倉東洋大前駅西口行き」
乗車、「アゼリアモール前」下車すぐ
- 東北自動車道館林インターチェンジより
料金所を館林方面へ出て、国道354号を直進、
「羽附」交差点を右折し、約1km直進後左手
(約5分)

お問い合わせ

館林市「日本遺産」推進協議会 館林市教育委員会 文化振興課 日本遺産推進係

〒374-0018 群馬県館林市城町3-1 TEL:(0276)71-4111
Mail: nihonisan@city.tatebayashi.gunma.jp

※ 2/18当日の問合せは、
TEL:(0276)74-4111(館林市文化会館)へ

